

令和6年能登半島地震での 金沢市広域避難所ボランティアについて

能登地方からの広域避難者を受け入れるため、1月上旬に金沢市が設置した避難所では、開設当初は300名を超える方が避難生活を送っていました。長引く避難所での生活を支えるために、多くのボランティアの方が活躍されました。皆様のご協力に心から御礼申し上げます。

金沢市社会福祉協議会で仲介・調整した活動をご紹介します。(1月～4月末までの実績)

個人ボランティア

1月16日から1月31日まで、金沢市社会福祉協議会のホームページにて個人登録を公募しました。

- ◆活動実績 合計日数102日 延べ活動者436名
- ◆活動内容 避難所に来所した面会希望者の受付、避難者の外出届の受付、声かけ等の実施



金沢まちづくり学生会議

技能ボランティア

ご協力のお申し出をいただいたボランティア団体に活動先を仲介しました。

- ◆活動実績 合計回数149回 延べ活動者488名
- ◆活動内容 整体、体操教室、生け花教室、理美容、演芸披露(マジック、楽器演奏等)等の開催



チームわかたけ

伏せ出しボランティア

1月24日より金沢市社会福祉協議会のホームページにてボランティア団体を公募しました。

- ◆活動実績 合計回数114回 延べ活動者863名
- ◆活動内容 うどん、ちらし寿司、おでん、カレー、豚汁、コーヒー(ラテアート)等の提供

「金沢マラソン2024」ボランティアスタッフ募集中

金沢マラソン2024は、金沢市広坂通(しいのき迎賓館前)をスタートし、石川県西部緑地公園陸上競技場をフィニッシュとする42.195kmのフルマラソンです。事前準備や大会当日(10月27日)にボランティアとして大会を盛り上げてみませんか?

1. 活動日・活動場所

- 活動日は(10月24日～10月27日)の中で1日を単位として複数日の参加も可能です
- 活動場所は、石川県立音楽堂交流ホール、金沢駅もてなしドーム地下イベント広場、金沢マラソンコース周辺等となります
※活動場所については、活動日や活動内容により決定します

2. 活動内容

- ランナーへの配布物封入
- ランナー受付や会場誘導
- コース沿道整理、給水・給食等

4. 応募方法

公式ホームページからお申込みください

金沢マラソン2024



3. 応募締切

7月31日(水)まで

5. 問い合わせ先

金沢マラソン組織委員会事務局(金沢マラソンボランティアセンター)
TEL:076-220-2548 FAX:076-261-2552 E-mail:vol@kanazawa-marathon.jp



「福祉のつどい」標語募集

福祉への理解と関心を深めていただくことを目的として、福祉にちなんだ標語を募集します。応募いただいた標語の中から、優秀作品を2024年9月8日(日)開催予定の「金沢市社会福祉大会」で表彰させていただき、2024年10月6日(日)開催予定の「福祉のつどい」会場内で掲示するなど、広く活用していきます。

1. 対象者

金沢市内に在住、在勤、在学の方

2. 応募方法

はがき又はFAXに「福祉に関する標語」、住所、氏名、電話番号を記入のうえ応募ください

3. 締切

2024年6月17日(月) 必着

4. 応募先

〒920-0864 金沢市高岡町7-25 金沢市社会福祉協議会内
「福祉のつどい」実行委員会事務局 TEL 076-231-3725 FAX 076-231-3721

2023年の標語優秀作品

- ・ありがとう そのひとことで つながるわ
- ・目ざそうよ 声かけ合える やさしい社会



金沢市 社協情報

はじめてみませんか?
ボランティア

No.202
2024.5.31



ウェルくん

通院・買物・お墓参りなどに、車いすのまま外出できます

金沢メルシーキャブサービス 利用者募集中!



金沢メルシーキャブサービスは、車いすに座ったまま乗車できる福祉車両を使った送迎サービスです。ご家族なども2名まで同乗できますので、安心してお出かけできます。運転協力会員(ボランティア)が福祉車両を運転しています。普通車2台・軽自動車1台で運行しています。令和6年2月より普通車1台が新車両になりました。

利用できる方 金沢市内在住で、
車いすを使用している方

運行時間 午前8時～午後9時
※12月29日から1月3日を除き、毎日運行

会員期間 1年間(4月1日～翌年の3月31日)

利用回数 平日は1カ月5回まで
※土・日・祝日は何回でも利用できます。

運行範囲 金沢市・野々市市・津幡町・内灘町
白山市(旧松任市・旧鶴来町に限る)
小松空港(小松空港からの乗車はできません)

【料金】

- 利用料 30分ごと300円+1kmごと20円
- 年会費 1,500円(4月1日から翌年の3月31日まで)
- キャンセル料 1回300円 その他 駐車場・有料道路などの実費

例:自宅から病院まで走行時間15分、走行距離5kmの場合。



15分(300円)+5km(100円)=400円
往復の場合……800円

【よくあるご質問】

- Q1:今すぐ利用したいのですが…
A1:事前に会員登録と予約が必要です。詳しくは事務局までお電話ください。
- Q2:車いすは貸してくれますか?
A2:貸出はしていません。ご自身で手配をお願いします。
- Q3:車いすの介助も頼みたいのですが…
A3:車への乗り降り以外の介助には、対応しておりません。介助が必要な方は、ご家族やヘルパーに同乗をお願いしてください。



申込み・問い合わせ 076-231-3725

☆車の運転が好きなボランティア募集中!☆



車いすに座った状態のまま乗車できる福祉車両を運転するボランティアを募集しています。皆様のご協力をお待ちしております。

応募できる方 次の全てに該当する方

- ①原則68歳以下の方
- ②過去2年以内に免許停止処分を受けていない方
- ③普通免許取得後、3年以上経過している方

活動内容 車いす利用者の通院や買物への送迎運転、福祉車両の乗降介助
※車の運転、乗り降り以外の介助はありません

活動日時 午前7時～午後9時の間でご都合の良い時間(12月29日～1月3日は連休)
※1回の活動時間は1時間～2時間半程度

申込み・問い合わせ 金沢メルシーキャブサービス事務局(金沢市社会福祉協議会内) 電話:076-231-3725
金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館 市町村運営有償運送(福祉運送) 登録番号:北石市福第1号

今号の内容

- 金沢メルシーキャブサービスのご案内 …… 1 ページ
- 能登半島地震での金沢市広域避難所ボランティアについて …… 4 ページ
- 被災地の市・町社会福祉協議会の支援 …… 2 ページ
- 金沢マラソンボランティア募集 …… 4 ページ
- 「あつまらんけ〜の」とについて …… 3 ページ
- 「福祉のつどい」標語募集 …… 4 ページ



被災地の市・町社会福祉協議会の支援

～支援活動を通じて、伝えたいこと～

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、広範囲に甚大な被害をもたらし、現在も多くの方々が困難な生活を強いられています。

金沢市社会福祉協議会では、1月16日から被災地の輪島市・羽咋市・穴水町の社会福祉協議会に延べ76名の職員を派遣し、災害ボランティアセンター運営等の支援活動を行っています(4月30日現在)。

<輪島市での主な支援活動>

◇1月：地域訪問活動等の支援

避難所から離れ、自宅や車で寝泊りしている方々も多いため、自宅等を訪問し、生活状況や困りごとの聞き取りをしました。

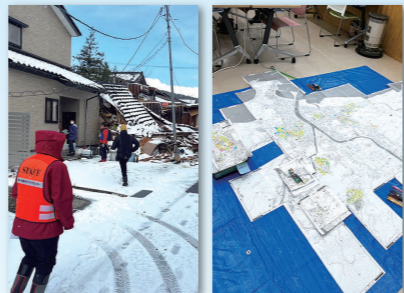
「ペットがいるから車中泊をしている」や、「感染症が怖いから自宅で生活している」など、さまざまな声が聞かれました。お話を聞き、生活用品などの物資や支援情報の提供などを行い、困ったことがあれば、いつでも社協に連絡してほしいと伝えました。地域住民の方が孤立しないよう、組織的に継続的な見守り活動を行いました。

1月25日に輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)が開設されました。ボランティアの受入準備を行うとともに、現地を訪問して、活動先のお宅でボランティアが安全に活動できるか、作業内容や必要人員、作業時間の確認等を行いました。

◇2月～：災害たすけあいセンターの運営支援

2月10日からボランティアの受入・活動が開始。県内外から来られたボランティアに活動先での作業内容や注意事項等を説明し、必要な資機材を手渡し、現地までの送迎等を行いました。

ボランティアの皆さんは、住民の方の立ち会いのもと、家屋の清掃や片付け、壊れた家電品や家財道具の搬出等を行いました。住民の中には、「一人で片付けができなくて困っていたんや。一緒にしてもらって本当にありがたい」と涙を浮かべながら、話される方もおられました。



被災地の状況とこれからの支援

ボランティアの依頼のあったお宅で現地調査をしている時に、住民の方から、「輪島のために活動いただき、ありがとうございます。寒いので体に気を付けてください」や、「自宅の家具等に転倒防止器具をつけていなかったから、家具や家電製品のほとんどが、倒れてしまい、壊れたり、一人では戻せなくなってしまいました。転倒防止器具をつけていた知人のお宅は家具が倒れなかったと聞きました」など、ねぎらいの言葉やアドバイスをいただきました。地域住民の方々とこのやり取りを通じ、あらためて人と人とのつながりの大切さや思い合う心の大切さを実感しました。

輪島市では、これまでに3,112人のボランティアが活動しています(4月24日現在)。

ボランティアの活動人数は、熊本地震や東日本大震災と比較すると格段に少ないことが課題となっているといった報道もされていますが、市外への2次避難等で家主が被災地にいないため、ボランティアにしてほしいことの聞き取りや立ち会いができず、ボランティアに支援を依頼できないことが大きな要因と考えられています。輪島市社協の職員は、「今後、仮設住宅への入居が増えるに伴い、引っ越し等のニーズは増える見込みです。被災された住民が、落ち着いた暮らしを取り戻すためには、長い期間を要します。わたしたちが皆さんにお願いしたいことは、被災地に長く関心を持ち続けてほしいことです」と話していました。

被災地社協の職員の方々の中には、被災により自宅に戻れず避難所で寝泊りしながら出勤したり、家族は2次避難しているものの、自身は輪島に残り、地域住民の生活を支援するために勤務している方も多くおられます。

金沢市社会福祉協議会では、被災した方々が、一日でも早く日常を取り戻せるようにするために、引き続き継続して被災地社協の支援を行います。



令和6年能登半島地震

被災者支援活動 「あつまらんけ～のと」



金沢市社会福祉協議会では、金沢市に2次避難された方々が安心して日常生活が送れるように各関係機関やボランティアと連携し、被災者支援活動「あつまらんけ～のと」を金沢福祉用具情報プラザ(金沢市本町)で開催しています。(令和6年8月31日まで期間延長 金・土曜日開催)

支援物資の配布

食料品や飲料水、日用品など、107の企業・団体から263件の支援物資をご提供いただきました。(5月10日現在)

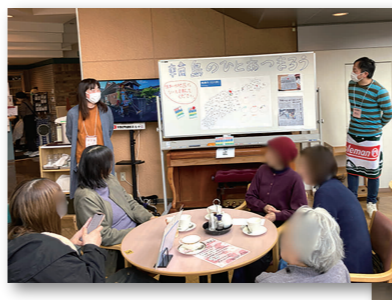
お預かりした物資は、被災された方々へお渡ししています。

支援物資をご提供いただいた皆様、運んでいただいた皆様、ありがとうございました。



つどいの場(カフェ)の開催

「よお!久しぶりやな」「元気やったか!」お茶を飲みながら、おしゃべりや情報交換ができるつどいの場(カフェ)を開催しました。



オカリナコンサートなどのイベントも開催しています。

相談窓口の開設

石川県社会福祉士会をはじめ、各専門職による被災者向け相談窓口を開設し、生活の不安などの相談に応じています。



上記の支援活動には、延べ1,107人のボランティアの方からご協力いただきました。(5月10日現在)

被災者見守り・相談支援等事業 ~石川県地域支え合いセンター金沢~

金沢市社会福祉協議会では、石川県から委託を受け、金沢市内のみなし仮設(賃貸型応急)住宅・公営住宅等に入居された方のお宅を訪問しています。

新しい環境に
慣れない

日中の楽しみを
見つけたい

相談窓口が
わからない



私たち社会福祉士が全国から応援に駆けつけています。

- ①生活上の困りごとなどをお聞きます。
- ②生活再建に向けて必要な情報を提供します。
- ③必要に応じて行政サービスや関係機関を紹介します。